

林業安全コラム

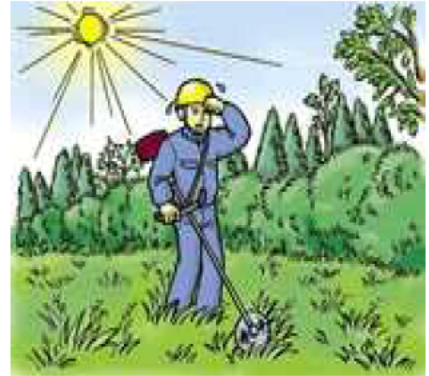
怖いのは 慣れた作業と その油断

◇ 熱中症予防について

今年の夏は猛暑日が続き、伐採作業に従事していた30代男性が熱中症により死亡する災害が発生しました。

事業主や働く皆さんは熱中症の予防を心がけて下さい。

- 状況に応じて、作業の休止、作業時間の短縮、作業場所の変更などの対応
- 自覚症状の有無に関わらず、作業の前後又は作業中に定期的な水・塩分の摂取を指導
- 熱を吸収・保熱しやすい服装は避け、透湿性・通気性の良い服装の着用
- 巡視による体調に異常がないかの確認
- 日常の健康管理（睡眠不足、体調不良、深酒等）に係る指導や健康相談の実施
- 緊急連絡体制や応急措置についての確認・周知



◇ ダニ刺咬、蜂刺されに注意を！

- ダニ媒介性疾患「重症熱性血小板減少症候群」については、国内における症例の確認を受け、「森林内等の作業におけるダニ刺咬に関する留意事項について」の注意喚起を本年2月に行ったところです。

予防対策として、ダニに咬まれないように長袖、長ズボン、足を完全に覆う靴を着用するなどして、肌の露出を少なくすることが大事です。また、刺咬された場合は、医療機関の診察を受けるよう心がけて下さい。



- 蜂に対する日常的な対処法として、作業箇所に事前に誘香剤を設置して蜂の巣の近傍有無を確認し、作業をするときは、顔面を保護するための防蜂網を着用する。特に蜂アレルギーの人は、医師の処方によるアドレナリンの自動注射器を携行するなどの対応をお願いします。



◇ 林業労働災害の発生事例について（類似災害防止のために！）

被災者は、一人で伐倒作業に従事。昼食時になっても戻らないため、同僚が探したところ、胸高直径36cmの伐倒木の下敷きになってるのが発見されたもの。

現場の状況から、直径36cmの伐倒木がかかり木となり、かかられていた木を伐倒したところ、かかり木となっていた伐倒木が倒れてきて被災したものと推測される。

【禁止事項は行わず、けん引具等を使用して処理を！】

かかられている木の伐倒



先月は梅雨明け後に猛暑日が続いたと思ったら、今度は各地で集中豪雨が、気象庁の「これまでに経験したことのない大雨。ただちに身を守る行動を」・・・の呼びかけに、自然の恐ろしさを改めて感じた方が多いのでは・・・。

林業労働対策室
労働安全衛生班